

患者ID:@PATIENTID

2010.3.20作成

@PATIENTNAME 様 大腸化療(sLV5FU2)

2022.5.13改訂

指示者	@USERNAME
コース数	

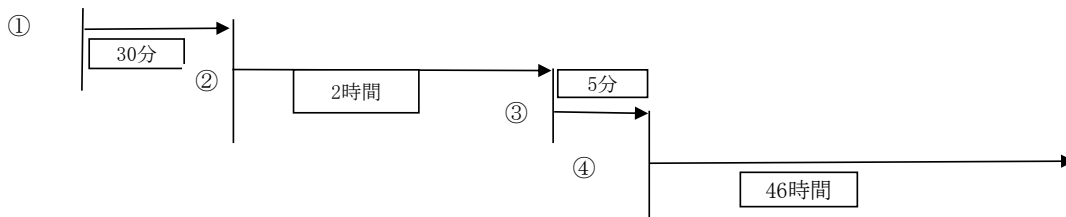
身長	HEIGHT01_D	cm
体重	HEIGHT01_D	kg
体表面積	#VALUE!	m <sup>2</sup>

(DuBoisの式)

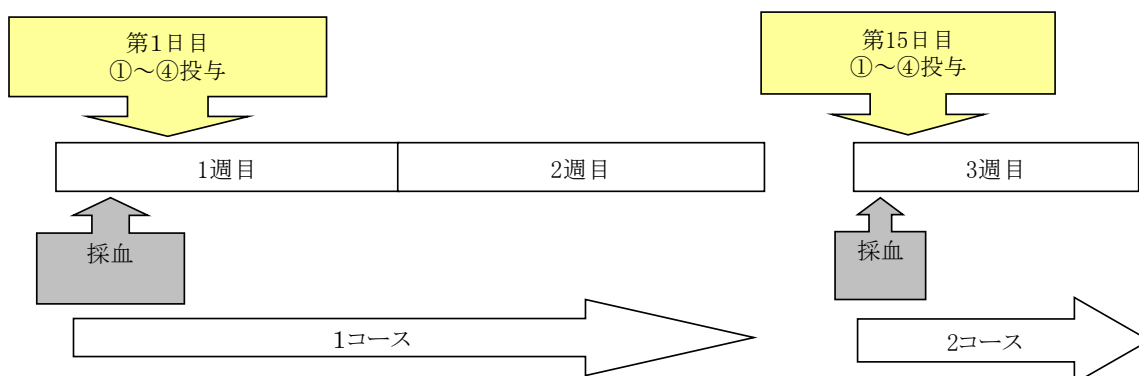
実施印

	薬物/実際の投与量	投与時間	投与経路	
①	グラニセトロン3mgバッグ1V デカドロン3.3mg2A プリンペラン1A	30分	点滴	
②	レボホリナート 200mg/m <sup>2</sup> 5%糖液100mL ( )mg/body #VALUE! 計算値 最小単位10mg	2時間	点滴	
③	5FU 400mg/m <sup>2</sup> ( )mg/body #VALUE! 計算値 最小単位10mg	5分	点滴	
④	5FU 2400mg/m <sup>2</sup> +生食を加え全量を230mL (処方生食500mL) ( )mg/body #VALUE! 計算値 最小単位10mg	46時間 インフューザー ポンプで	点滴	

### 投与手順



### スケジュール

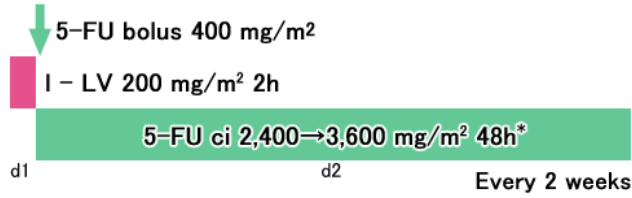
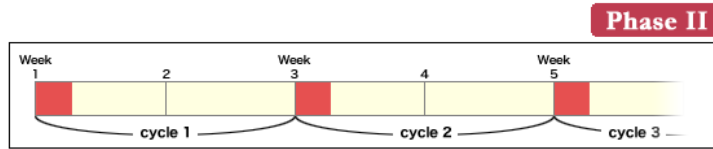


### (採血)

- ・初回投与時は投与直前と、投与2日後にする(副作用チェック)。
- ・2回目以降投与の際は、投与直前に採血する(副作用チェック)。
- ・腫瘍マーカーは月1回測定する。画像は2月に1回撮影する。(効果判定)

(効果)

### sLV5FU2 regimen (Simplified bimonthly regimen)



\*日本での承認用量は  
5-FU 2,400~3,000 mg/m<sup>2</sup> 46h投与

RR	37%
PFS	8.6M
OS	18M

Tournigand C, et al. Proc ASCO #1052, 1998

de Gramont regimenより簡略な投与スケジュールで同等の治療効果が得られることを目標に設計された regimen。2日目のLVと5-FUの急速静注が省略されている。1998年のASCOでは、進行再発大腸癌患者86例を対象としてde Gramont regimenと同等の治療成績が報告された。